

一 般 (個 人) 質 問 通 告 一 覧 表

令和元年第5回笠岡市議会定例会

9月11日・12日・13日(3日間)

通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1 藏本 隆文	1 笠岡市地域 防災計画につ いて	<p>昨年7月の豪雨災害を教訓に、国から地域防災計画の見直しを求められ、どこの自治体も一斉に今年3月に新計画書を出している。ひな形に沿ってつくったようで、他市のを見てもよく似た内容である。</p> <p>笠岡市の防災計画は、風水害対策編(207P)、地震・津波災害対策編(263P)、資料編(366P)で、合計836ページ、厚さは4cmもある。</p> <p>しかしながら、これを読み込んでいくと、昨年の災害対応の未熟さをカバーし実践に基づいた計画であるのか疑問に思えた。</p> <p>地域防災計画は、市民の生命に直結したものである以上、実践で役に立つ内容でなくてはならない。</p> <p>台風シーズンになったが、昨年の被災者は先月15日の台風時にも大変敏感になっていた。</p> <p>市民の安心の確保のための質問を行う。</p> <p>(1) 昨年の豪雨災害についての検証を行ったのか。行ったのであれば、いつ公表するのか尋ねる。</p> <p>(2) 昨年の豪雨災害で、市の対応において、どのような点が問題であったと認識しているのか。</p> <p>(3) このたびの新防災計画は、前計画と比較して、どのような改良点があるのか尋ねる。</p> <p>(4) 倉敷市では、新防災計画策定において、パブリックコメントを求めたが、笠岡市はなぜ行わなかったのか尋ねる。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

2 馬越 裕正	<p>1 教育環境の整備について</p> <p>2 運動公園の整備計画について</p>	<p>夏休みを短縮して、8月中に2学期の始業式を行う学校が増えている。台風やインフルエンザに備えるためと、英語等の教育内容の充実のためだそうである。教育環境は、大幅に変わっている。</p> <p>一方では、働き方改革でのイメージで、ブラック的な職場環境のイメージが膨らんでいて、昔の尊敬される職業とは全く違って、今や先生を希望する人が激減しているそうである。</p> <p>(1) 笠岡市では、どの程度働き方改革を実践されて効果が上がっているか。</p> <p>(2) 教員希望者が減っている現状で、県教委と密なる連絡を取りながら、どのような対策を考えているのか。</p> <p>(3) 笠岡市の教育委員会として、できることは限定されていることは十分承知しているが、どのような施策を行っているのか。</p> <p>(4) 来年度以降に向けて、笠岡市独自の支援員増加を検討しているのか。</p> <p>(5) 不登校の生徒が、約11万人。学校に行っても教室に入れない生徒が、約33万人と報道されていた。笠岡市の実態と対策について尋ねる。</p> <p>運動公園については、プールの場所をどうするかということが大きな話題となった。その後、アンケート調査を実施しているはずである。</p> <p>以下のことについて尋ねる。</p> <p>(1) アンケート調査結果と分析を尋ねる。</p> <p>(2) その結果、何をどうするのか決まっているのか。</p> <p>(3) 先日、長崎県諫早市にスポーツ拠点施設についての視察に行ってきた。スケートボード場がかなり利用頻度が高いようである。例えば、スケートボード場建設は考え</p>	<p>教育長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
---------	---	---	---

		<p>られないか。</p> <p>(4) 来年はオリンピック開催が開催されて、例えばボルダリングとかも注目されつつある。新しい種目も含めて検討しているか。</p> <p>(5) パラリンピック種目の検討する考えはあるのか。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p>
3 大本 益之	1 キャリア教育充実による人材育成について	<p>日本社会は、少子化・高齢化による人口構成の変化や、例えばAIやロボット、IoTの進展など、テクノロジーの進化は加速度的に進んでいる。そのような時代スピードに対応し、新たな地域社会を創造するのは「ひと」と考える。したがって、未来を見据えた起業家的な資質や能力を育み、自己の将来実現目標を見つけるためのキャリア教育に関することは、人材育成の観点で大変重要だと考えており、委員会等でたびたび質問や提言をしているところである。</p> <p>平成27年9月定例会では、国立教育政策研究所の研究データを参考に一般質問をした。</p> <p>キャリア教育計画の充実度が高い学校ほど児童の学習意欲が向上し、学力向上につながっている一方で、キャリア教育での自己の指導力向上に努めている教員の割合が低い等のデータを紹介した。</p> <p>その後4年が経過し、市教委並びに市内小・中学校の取組みについて尋ねる。</p> <p>(1) 4年前と本年度のキャリア教育の取組み内容を比較してどのように進化したか。児童の発達段階に応じて、特に新たに取り組んだことは何か。</p> <p>(2) キャリア教育に関しての、教員の指導力向上が図られたか。</p> <p>(3) 国並びに県の学力・学習状況調査結果を踏まえて、学習意欲や自己肯定感など、どのように評価しているか。</p>	<p>教育長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

2 通級による指導について	<p>文科省が公表している、通級（通常の学級に在籍していながら個別的な特別支援教育を受けることのできる制度）による指導を受けている児童生徒数の推移によると、平成 18 年度の 41,448 人から平成 29 年度には 108,946 人に増加している。</p> <p>岡山県においても第 3 次岡山県特別支援教育推進プランによると、通級指導教室在籍児童数が平成 19 年度の 1,017 人から平成 29 年度には 2,022 人に増加している。</p> <p>国では、義務標準法等の一部を改正する法律等が施行され、「・・・障害による学習上、又は生活上の困難を克服するために障害に応じて行われる指導・・・」であって、「・・・（特別支援学級の児童又は生徒を除く）児童又は生徒 13 人につき教員 1 人をそれぞれ算定する基準を新設すること。・・・」となった。つまり基礎定数が新設された。</p> <p>通級指導を必要とする児童生徒が増加している現状において、児童と保護者の不安を取り除くために、笠岡市においても質の高い通級指導の体制が求められると考えるが、通級による指導について尋ねる。</p> <p>(1) 市内では中央小学校に通級指導教室が設置されているが、課題は何か。</p> <p>(2) 「市内中学校には設置されていないので、児童の進級に不安がある」と保護者から仄聞する。中学校への設置計画はあるのか。</p> <p>(3) 保護者への通級指導教室の認知度、並びに保護者との連携体制の現状はどうか。</p> <p>(4) 通級による指導の充実に向けて教育委員会が早急に方針を立て、小・中学校等と連携することが求められると考えるが所見を求める。</p>	教育長 〃 〃 〃
---------------	---	--------------------

	<p>3 行政並びに市内の情報発信について</p>	<p>(ア) 県のプランで紹介されている通級指導教室を拠点とした地域のセンター的役割について。</p> <p>(イ) 特別支援学校並びに特別支援学級との連携について。</p> <p>(ウ) 幼保と小・中学校,さらには指導が制度化された高校との接続について。</p> <p>(エ) 通級指導担当者の増員及び指導力の向上について。</p> <p>(オ) 総務省の連携中枢都市圏構想による広域連携促進事業などを活用しての,行政区を超えた取組みについて。</p> <p>広報紙(広報かさおか)は,市民が行政情報を知る上で重要な役割を果たしてきているが,若年層への効果は薄いと言われている。また,市外の人にはほとんど見られない。</p> <p>そこで,情報発信にウェブサイトやSNSなどを有効活用することが自治体に求められている。</p> <p>笠岡市でも自治体や本市の関係団体など運営主体が異なるが,笠岡市内のさまざまな情報を発信している。一方でアクセス数や反応に手応えがない状況も現実として見受けられる。中には,ほとんど見られていないホームページがあるのではないかと推察する。</p> <p>関係者だけが見ていて満足しているとしたら残念であり,情報発信の手法を再考して効果を上げなければならないと考えるが,以下について尋ねる。</p> <p>(1) 笠岡市並びに関係団体のウェブサイト数やSNS活用状況,それらの情報発信数,並びに閲覧数はどのような状況なのか。</p> <p>(ア) 笠岡市サイト</p> <p>(イ) かさおか夢ワーク,子育て情報サイトハ</p>	<p>教育長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p>
--	---------------------------	---	--

		<p>(5) SNSによる情報発信について、インフルエンサー（有名人や著名人など世の中に大きな影響を与える人）への協力について代表質問で提言した経緯がある。さらに、フォロワー数は著名人より少ないけど笠岡市に関係するさまざまなことを発信して、受け手側に内容を身近に感じることによる安心感や信頼感による効果が期待できる「笠岡ファン度が高いアンバサダー」への協力を進めてはどうか。</p> <p>福山市では、福山市のことが大好きで情報発信意欲のある方を「福山アンバサダー」として認定して発信している。認定者は511名で、総フォロワー数は152万人（19.4現在）となっている。「外国人・外国語アンバサダー」の登録も行い、世界にも発信している素晴らしい事業である。</p> <p>参考になるのではないか。</p>	関係部長
4 藤井 義明	<p>1 地方自治法第115条について</p> <p>2 小中一貫教育及び学校規模適正化計画について</p>	<p>「地方自治法第115条 普通地方公共団体の議会の会議は、これを公開する。」とあります。公開の原則、すなわちこれは事前審査禁止をうたっていると解釈されていますが、当局の見解をお尋ねします。</p> <p>(1) 小中一貫教育推進計画案が示され、一貫教育（連携型）のカリキュラムは、現在新吉中学校区（新吉中学校・吉田小・新山小）で試行されている中で、2つの中学校へ進学する小学校の学区再編についての考えをお尋ねします。</p> <p>(2) 小中一貫教育（連携型）を行う場合の課題として、教員の移動時間、複数校への訪問などあり、教職員への負担が増大しますが、加配教員等の配置についての考えをお尋ねします。</p>	<p>関係部長</p> <p>教育長</p> <p>〃</p>

		<p>(3) 学校規模適正化計画の修正案が示され、令和10年をめどに施設一体型小中一貫校金浦ブロック（金浦小・城見小・陶山小）を開設し、その後、新吉中ブロック・神外ブロックを候補として検討とありますが、将来一体型小・中学校は何校にするのかお尋ねします。</p> <p>(4) 施設一体型一貫校設置には再編計画の市民合意が不可欠であります。市民合意を得るための進め方についてのお考えをお尋ねします。</p>	<p>教育長</p> <p>〃</p>
	3 幼保一体化について	<p>(1) 笠岡市就学前教育・保育施設再編整備計画のメリット・デメリットをお尋ねします。</p> <p>(2) 再編整備計画における集団規模の確保について、笠岡市の規模の基準をお尋ねします。</p> <p>(3) 笠岡市就学前教育・保育施設再編整備計画を推進することによって、「支援の量の確保」、「支援の質の向上」が図れるとの説明がありますが、「量」、「質」とは具体的には何か、お尋ねします。</p> <p>(4) 笠岡市就学前教育・保育施設再編整備計画の目的は経費削減ではなく、よりよい教育環境の整備であると言いますが、なぜ保育施設の再編整備計画がよりよい環境の整備といえるのか、お尋ねします。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
5 大山 盛久	1 有害鳥獣駆除対策の現状について	<p>近年、野生鳥獣による農作物被害が急増しており、極めて深刻な問題となっています。さらにここ数年は農作物被害だけでなく、生活環境被害についても増加しています。</p> <p>そこで、現状についてお尋ねします。</p> <p>(1) 今年度、現在までの捕獲状況及び被害状況をお尋ねします。</p>	<p>関係部長</p>

		<p>(2) 島しょ部での駆除の状況と現状をお尋ねします。</p> <p>(3) 市全体の課題についてお尋ねします。</p> <p>(4) 課題についての対策についてお尋ねします。</p> <p>この問題は、他の議員からも何度となく質問されていますが、現状を踏まえて今後の方向性をお聞かせください。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>市長</p>
6 山本 俊明	<p>1 中心市街地の今後について</p> <p>2 笠岡市就学前教育・保育施設の再編・市立小学校規模適正における地域とのつながりについて</p>	<p>長い間笠岡市を支えた笠岡を代表する割烹旅館三洋が消したと仄聞します。三洋は市民が安心してお客さんを案内できる割烹旅館であったと思います。笠岡の中心市街地の商店が消えてゆくこの状況をそのまま流れにまかせるのか、それともまちなかの再生を考えているのか。考えているとすれば市長の求める中心市街地の姿を示されたい。</p> <p>笠岡市就学前教育・保育施設の再編・市立小学校規模の適正における地縁的なつながりの希薄化に伴い、家族や子供達が地域との絆が弱まってくると考えられます。その事は子供たちにとって地域の住民との交流が少なくなり、様々な経験から学ぶ「社会性」や「信頼関係」を作り上げていく事が難しくなります。少子化の中で教育の環境がいかに変化しようとも様々な経験を通して豊かな人間性を養うことが重要です。教育委員会としては今後どのように対応するのか具体的にお示し願いたい。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p>
7 坂本 公明	1 農地を守るための取組みについて	<p>農業従事者の高齢化の進行と後継者の不足などにより、もう何年かすると耕作放棄地が急速に増えることが予測される。食のかなめである農業の先行きが懸念される。</p> <p>地域の生活環境を守り、農業の基盤である農地を守る取組みが急務であると考えます。</p> <p>そこで、耕作放棄地（主に水田）の解消・防止</p>	

		<p>のための取組みについて尋ねる。</p> <p>(1) 耕作放棄地の実態と今後の見通しについて。</p> <p>(2) 耕作放棄者に対する指導とその効果について。</p> <p>(3) 農業後継者の育成について。</p> <p>(4) 耕作放棄地の解消・防止に向けた取組みについて。</p> <p>(5) 農地の集約化や耕作放棄地の解消を推進する方策として、国が創設した農地中間管理機構制度の活用について。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
8 仁科 文秀	1 就学前教育・保育施設再編整備計画について	<p>笠岡市議会では、7月下旬から8月にかけて、笠岡市が計画している幼稚園・保育所の再編計画について、市内8カ所で議会報告会を開き、ワークショップ形式で広く市民や保護者の意見を聴いた。集団保育の適正規模化の推進を評価する声がある一方で、幼稚園・保育所・子供たちと地域との分断を懸念する意見や通園の困難さを心配する意見が数多くあった。</p> <p>本市では、パブリックコメントや市民・保護者との意見交換会などを経て、素案の一部を修正して、2024年度までに幼保連携型認定こども園として、再編整備する内容の最終的な計画を策定し、7月までに説明も終えたとしている。</p> <p>再編対象となっている園では、在園児童が3年連続で15人を切ることがないように、望みを捨てずに地域を挙げて存続活動に取り組もうとする園もある。</p> <p>議会として、議員として、再編整備計画にこだわり、保護者、地域に寄り添い、教育・保育環境についてかかわっていく立場から、再度質問する。</p> <p>(1) 子供たちは地域の大切な宝、たとえ自分の子供や孫でなくても、かけがえのない存</p>	<p>市長</p>

		<p>在として地域で守り育てていきたいと考える住民がたくさんいる。今回の計画は、地域格差を生み、地域の衰退を招き、市長が目指す「2世代、3世代が一緒に暮らす、生まれ育った地域を大切にする」という考えと逆行しているが、考えを尋ねる。</p> <p>(2) 公立の幼稚園や保育所のあり方については、何年も前から審議会等で検討がなされてきている。その答申の中では、「統廃合については、地理的状況や地域住民、保護者の意見を配慮して慎重に実施されたい、保育環境の変化による不安を解消するためにも、十分な説明を行い保護者の意見を聞くこと」とある。笠岡市として、こうした基本的な考えには変更はないのか。市長がかわれば変更になるのか尋ねる。</p> <p>(3) 過去の資料でも、公立は「特別の支援を必要とする児童の保育を積極的に推進する」とある。現在でも、公立はそのような意識をもって運営しているのか、公立と私立の違いについてどう考えているか尋ねる。</p> <p>(4) 今回の計画は、公立の園を弱体化させ、結果として私立の園に子供を向かわせることになっている。今後とも、その傾向が強まることが予想される。園舎、保育時間、保育の柔軟性など、私立優位の中で、今後、私立主体でいくことになるのか尋ねる。</p> <p>(5) 6月議会の答弁では、適正な集団規模の考え方について、3歳児は20人以下、4歳児、5歳児については各20人以上、特に5歳児は25人以上が望ましいという見解が示された。それ以前に言われていた3歳以上20人以上、全体で30人以上を基準とすると</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
--	--	---	--------------------------------------

	<p>2 ひきこもり 対策について</p>	<p>いう考えと違っている。ハードルを上げてきている。各中学校区に残すという方針があるが、残そうとする園でも示された基準を満たすところばかりではない。とても基準に達しない園もある。近い将来、さらに少なくしていくのか。</p> <p>半年以上にわたり、家族以外とほとんど交流せず、自宅にいる40～64歳のひきこもりの人が、全国に61万人余りいることを内閣府が公表した。この数は、15～39歳までの若年層のひきこもりの約54万人を上回っている。笠岡市内にも多くのひきこもりの人がいると思われる。高齢者の親が、ひきこもっている子供の面倒を見ているケースが多く、8050問題はますます深刻になっている。</p> <p>(1) 全国の調査でも7年以上ひきこもっている中高年が46.7%いるという。笠岡市内の実態を把握し、対策をとろうとしているか尋ねる。</p> <p>(2) 厚生労働省は、どんな相談も受け付ける窓口を市区町村に整備し、2020年をめどに包括支援体制をとり、関係機関が連携して解決を図るように求めているが、本市では取組みを始めているか尋ねる。</p> <p>(3) 地域の子供たちに無料または安価で食事を提供する「子ども食堂」は、今や全国に広がりを見せており、3,718カ所にまでなっている。子ども食堂は子供専用ではなく、高齢者や小さな子供を連れた親子の姿もあるという。地域に居場所があり、食事をする場所がある。子ども食堂は、子供から高齢者、障害者まで利用される「みんなの食堂」になってきている。引きこもりの人が参加できる場所としての可能性について尋</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
--	---------------------------	--	-----------------------------

	<p>3 高齢者タクシーチケットについて</p>	<p>ねる。</p> <p>(4) 不登校から義務教育後にひきこもりになるケースがある。小・中学校在学中だけでなく、中学校卒業後の支援も考えなければならない。笠岡市として、中学校卒業後の支援について、ひきこもりの予防のための対策をとっているか尋ねる。</p> <p>笠岡市でも高齢者対象のタクシーチケットが制度化され、大変喜ばれている。1乗車につき運賃が1,000円を超える場合は500円券が2枚まで使えるようになり、便利になっている。</p> <p>この9月補正予算でも申請件数、利用数が増加し、補正が計上されている。一方、全国では、高齢者による交通事故があとをたたず、死亡事故になっている痛ましい事例もある。</p> <p>(1) 本市における、最近の免許証の返納の状況を尋ねる。</p> <p>(2) 身体機能の衰えから、みずから交通事故を起こすことを心配して、免許証返納を積極的に考えようかという人がある。そうした高齢者にとっては大変喜ばれる制度であるが、条件面で、返納に踏み切れない現状がある。</p> <p>条件面での緩和が望ましいが、特に不慮の事故の防止を考えるならば、高齢者の多くが年金生活者である現状、市内にバス路線が十分には整備されていない現状、バス停まで遠く歩くのが難しい現状などを考えれば、「市民税非課税の人」の項目はなくすべきではないか尋ねる。</p> <p>高齢者は、市民税非課税の人であってもなくても、移動手段には、等しく不便を感じている。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>”</p>
--	--------------------------	---	------------------------------

<p>9 大本 邦光</p>	<p>1 共生社会へ環境整備について</p>	<p>日本で暮らす外国人への日本語教育の充実を促す「日本語教育推進法」が6月に、通常国会で成立し、施行されました。外国人材の受け入れを拡大する新制度も4月に始まる中、外国人との共生を後押しする具体的な取組みが、今後、始動します。</p> <p>同法は、日本語教育の推進により「外国人が日常生活及び社会生活を国民とともに円滑に営むことができる環境の整備」と「多様な文化を尊重した活力ある共生社会の実現」を目指すとしています。</p> <p>日本語教育に関する施策の策定と実施を国と地方自治体の責務とし、事業主の責務も定めました。基本方針の策定を国に義務付け、地方自治体には努力義務としています。基本的施策として、日本語教育の機会拡充に向け、外国人の児童生徒を指導する教員の養成や研修、地域の日本語教室の運営の支援などを明記。日本語教育に従事する人の能力・資質向上と処遇の改善なども掲げています。</p> <p>同法により、地方自治体にも日本語教育の推進策が求められています。一つの具体例となるのが、人口の12%を外国人が占める東京都新宿区の取組みであります。区の関連法人が、外国人労働者やその家族向けの日本語教室を開催し、年間約420人が受講しており、約80人に上るボランティアが授業を担っています。関連法人の担当者は「ボランティアが地域と外国人を結び付ける役割を担っている」と述べ、外国人の孤立防止のためにも、地域住民を巻き込んだ形での日本語教育の重要性を指摘しています。</p> <p>(1) 日本に暮らす外国人の数は、2005年に200万人を超えました。その後の増加、そして減少はあるものの200万人台を維持してい</p>	<p>市長</p>
----------------	------------------------	---	-----------

		<p>ます。在住外国人が総人口に占める割合は先進諸国に比べれば決して高くはないが、20年前に比べれば、2倍近い外国人が日本に暮らしています。就労を目的に来日する外国人の場合、留学生とは異なり、日本語学校などで日本語や日本文化について学ぶといった、日本社会への適応のための準備期間を経験せずに、来日直後から仕事を中心とした生活を送る現状ではないでしょうか。そこで、本市における主要国籍・地域別、在留資格別在留外国人数とその推移についてお尋ねします。</p> <p>(2) 日本は少子高齢化社会にあり、人口減少が見込まれる中、外国人の受け入れに対する議論は今後ますます熱を帯びると予想されます。しかしながら、外国人が日本で生活する上で必要な日本語の学習機会については、一貫した政策や制度等がないまま現在に至っています。在住外国人に対する「言語学習」の重要性において本市における、外国人の学習機会を広げるための教員養成、地域の教室を支援する取組みについてお尋ねします。</p> <p>(3) 岡山県総社市には、2019年1月現在で約1,500人、総人口比2.16%の外国籍市民が暮らしています。1990年当時、総社市には、日本語学習の場がなかったため、多文化共生施策の一環として、2010年度から生活者としての外国人のための日本語教育事業を文化庁より受託し、日本語教育を開設運営しています。外国人住民が地域社会の一員として、積極的に参加できるように「地域住民同士がつながる場」を提供することを目的としています。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p>
--	--	--	--------------------

	<p>2 幼保無償化について</p>	<p>笠岡市の今後の対応策についてお尋ねします。</p> <p>今年の10月から始まる国の幼児教育・保育の無償化の制度のスタートまで1カ月を切っています。政府は先月から、テレビCMの放映や特設サイトを公開し、周知を進めています。約300万人の子供が対象となる幼保無償化は、社会保障の大改革でもあります。既に、無償化を独自に実施している自治体もあるが、子育て世帯への支援だけでなく、子供を持ちたいと考えている人にも希望を与えことになると思います。</p> <p>無償化の対象は、3～5歳児の全世帯、0～2歳児の住民税非課税世帯で、認可保育所などの利用料が無料になります。認可外施設や幼稚園の預かり保育も、補助額に上限を設け無償化されます。ただ、対象世帯が自動的に無償化されるわけではありません。</p> <p>例えば、「子ども・子育て支援新制度」に移行していない幼稚園を利用している場合は、申請書が必要になります。認可外施設で無償化の対象となるには、自治体から保護者の就労状況などに基づく「保育の必要性の認定」を受けることが求められます。</p> <p>(1) 10月から始まる幼児教育・保育の無償化に向けて政府は、制度を周知するためにテレビCMをスタートさせました。また、手続きが必要となるケースやその詳細などを、専用の電話相談窓口などを紹介する特設サイトを公開しています。笠岡市における、手続きが必要な保護者の周知等の取組みについて尋ねします。</p> <p>(2) 手続き方法は、利用施設によって異なります。期限内に手続きを行わなければ、10月スタート時に無償化の恩恵を受けられな</p>	<p>市長</p> <p>〃</p>
--	--------------------	--	--------------------

		<p>いかかもしれないと注意を促す自治体もあります。保護者がスムーズに申請できるよう取り組む施策についてお尋ねします。</p> <p>(3) 施設側への目配りも欠かせません。保護者への説明や事務作業が増えており、認可外施設は無償化の対象施設となるため、手続きが必要になります。課題や不安を抱えていないか注視し、市民との橋渡し役を担う必要性の所見についてお尋ねします。</p>	市長
10 東川 三郎	<p>1 公金の取り扱いについて</p> <p>2 笠岡市の小・中学校のいじめの現状について</p>	<p>今年、8月7日の新聞報道によれば、笠岡東公民館で2年前、運営費83万8,235円を紛失する事態がありました。</p> <p>公金の取り扱いが、こんなずさんなことでいいのか。</p> <p>また、どう考えても不思議なことばかりで理解できないため、以下お尋ねします。</p> <p>(1) 教育長が知ったのは、いつですか。</p> <p>(2) 2年前とは、何年の何月何日ですか。</p> <p>(3) 使用目的があったので現金を引き出したと思いますが、使用目的であった行事の経費はどうしたのですか。</p> <p>(4) 各年度の決算では、通帳残と決算書が合致しないと思いますが、どのような決算がなされていたのですか。また、監査はどうしていたのですか。</p> <p>(5) お金がなくなったことに気づいた時、なぜ、警察に紛失届を提出しなかったのですか。また、教育委員会に届けをしなかったのですか。</p> <p>全国では、いじめは毎年数万件の単位で起きているというデータがあります。児童1,000人単位で見た場合、数件から数十件のいじめ問題が発生していると考えられます。</p> <p>いじめ問題は、インターネット上でも起きてい</p>	<p>教育長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

		<p>ます。四六時中行うことができ、現実空間で行われるいじめよりも発見が困難という性質があります。</p> <p>そういうこともあってインターネット上のいじめは悪質なものが多いといえます。</p> <p>以下、笠岡市の現状をお尋ねします。</p> <p>(1) 笠岡市の小・中学校で、年間いじめ件数はどれくらいありますか。</p> <p>(2) いじめが複雑がしている中で、教育委員会の取組みについてお尋ねします。</p>	<p>教育長</p> <p>〃</p>
11 奥野 泰久	<p>1 尾坂ダムの耐震化について</p> <p>2 議会事務局改革について</p>	<p>近い将来、高い確率で発生が予想されているのが南海トラフ地震です。岡山県の想定では最大震度6強、被害が最大になる場合、死者3千人、建物全壊約1万9千棟、避難者約34万2千人とされています。そこで、</p> <p>(1) 笠岡市での被害想定はどの程度見込んでいますか。</p> <p>(2) 尾坂ダムについては、耐震化は十分なのですか。</p> <p>現在、議会事務局職員の定数は、執行機関の職員定数条例に規定されているが、独自に議会事務局職員定数条例を制定することについて、どのようにお考えでしょうか。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>市長</p>
12 樋之津倫子	1 児童虐待防止法生かして	<p>子育て世帯を取り巻く環境の厳しさの中、子供の貧困率が7人に1人という高い比率で推移している現状に加え、消費税増税すれば生活をますます圧迫することになります。</p> <p>こんな背景のもと、東京都目黒区の事件、千葉県野田市の事件、喫緊では鹿児島県出水市での事件など、幼い命が奪われる虐待死が相次いでいます。しかしこれは氷山の一角にすぎません。</p> <p>(厚生労働省虐待死事例検証によると、29年度は虐待死65人)</p> <p>厚労省の平成30年度児童虐待相談対応件数速</p>	

		<p>報値によると、全国児童相談所相談件数 159,850 件、前年度比 20%増で、その内訳は①身体的虐待 (25%) (前年度比 20%増)、②心理的虐待 (55%) (前年度比 20%)、③ネグレクト (18.4%) (前年度比 10%増)、④性的虐待 (1.1%) (前年度比 13%増)</p> <p>こうしたことを受けて政府は、緊急点検や追加調査を行うなど実態把握しながら、6月児童虐待防止法改正しました。</p> <p>(1) 笠岡市の子供の貧困率を求めて実態調査の必要性を訴えてきたが、アンケート、分析の経過と実態機能結果について尋ねます。</p> <p>(2) 未就学、就学含め、市内の児童虐待、要観察児童の実態について尋ねます。</p> <p>(3) 政府の虐待防止プランは市町村に対策強化を求めているが、市として「子ども家庭総合支援拠点」の設置、専門担当者の配置状況は万全かどうか尋ねます。</p> <p>(4) 笠岡市に児童相談所を設置してはどうか尋ねます。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
2	干拓における対策の充実とふん尿処理	<p>(1) 市民から、干拓のにおいに関する苦情が今も届けられています。私自身はにおいが薄まったように感じていますが、関係者の努力、取組みの到達点と今後の課題についてお尋ねします。</p> <p>(2) 頭数が増えていく中、牛ふんを堆肥として利用するだけでは不十分と思えます。有効な対策について考えを尋ねます。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p>
3	名実ともに真の保育料無償化実現を	<p>保育における食事は、子供の発育発達に欠かせないものです。6月議会で保育料無償化に伴い給食費の実費徴収については、新たに発生する副食費徴収についても市独自に支援することで、真の保育料無償化とするよう求めました。</p>	<p>市 長</p>

		補正予算で示された無償化対策範囲を広げ、 真の保育料無償化実現を子育て対策として行う のか、市長の見解を求めます。	
--	--	---	--